

2025 年 6 月 23 日

大学行政管理学会
国際委員会委員長 殿

国際委員会 IRRT 主催 研究会に関するアンケート結果について

国際員委員会 IRRT
水野 麻美

標題について以下のように報告いたします。

1 概要

対象者：研究会の参加者

実施方法：Google フォーム

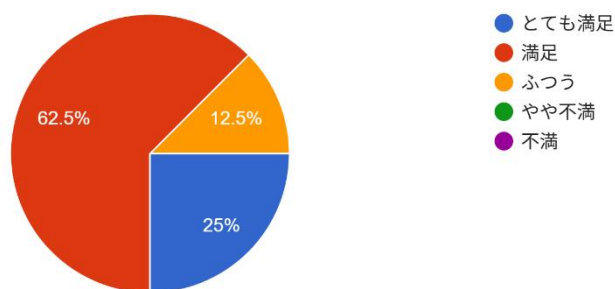
実施日：6 月 14 日～6 月 19 日（研究会実施日：2025 年 6 月 14 日）

回答数：8 件

2 アンケート結果

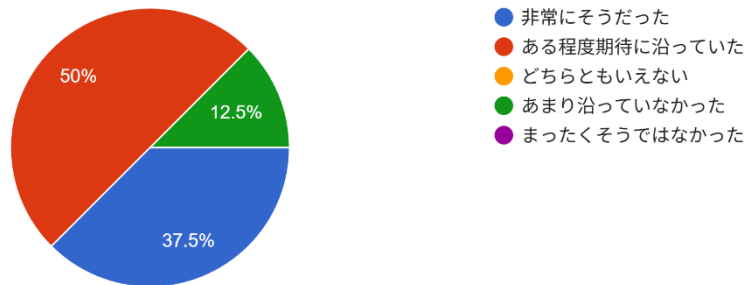
1 全体的な満足度を教えてください

8 件の回答



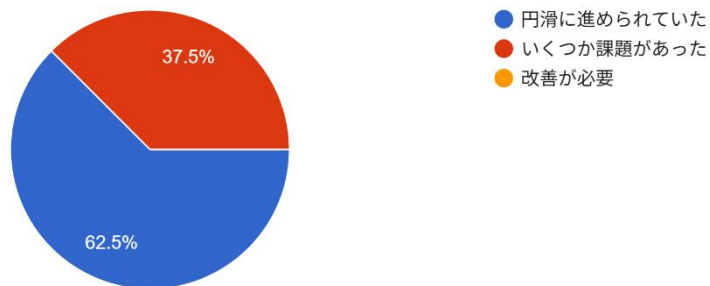
2 内容は期待に沿っていましたか

8 件の回答



3 進行や運営についてはいかがでしたでしょうか

8 件の回答

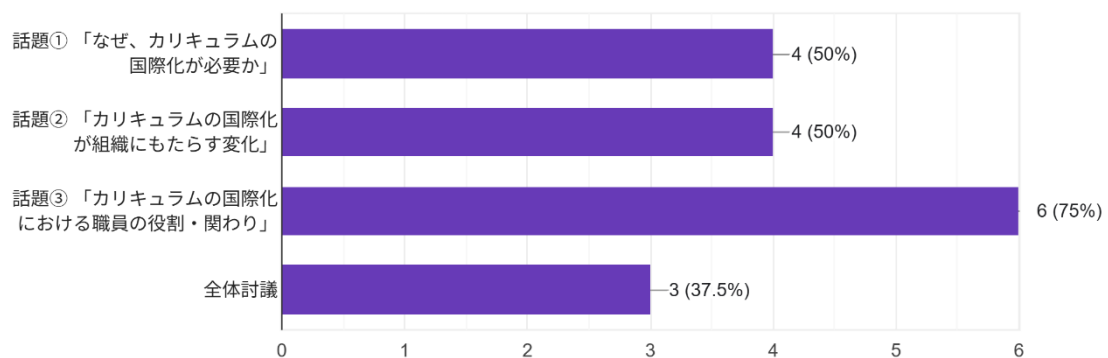


課題や改善について教えてください(自由記述) 2 件の回答

- ・やはり、ハイブリッドは技術的に難しいですね。
- ・オンラインの場合、会場にいた質問者の質問が聞き取れない場合があった

4 本日のプログラムにおいて、印象に残ったセッションを教えてください(※複数選択可)

8 件の回答

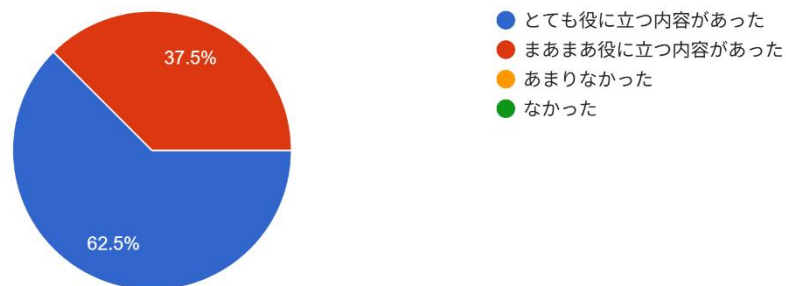


全体をとおして印象に残った内容があれば教えてください。2 件の回答

- ・結局、推進者の知識・ビジョン、リーダーシップと気合が必要であるという点です。
- ・オランダにおいても、国際化に関する状況は日本と基本的には同じであることがわかった

5 ご自身の業務や研究等に役立ちそうな内容はございましたでしょうか

8 件の回答



6 今後、取りあげてほしいテーマがあれば、ご記入ください 0 件の回答

※回答なし

7 その他、自由なご意見やご感想等があれば、ご記入をお願いします 2 件の回答

- ・ありがとうございました。
- ・大学の国際化は必要だと思っています。しかし、機関による差異は当然にあります。オランダの大学は必然的に国際化を考えねばならない環境にあるのですが、日本においてはなかなか理解されないジレンマがあります。講師の発表にもあったように、オランダでも英語一辺倒でなく、オランダ語を大事にするムーブメントが起きていると聞きます。国際化、の変わりゆく、変わらない定義を考えていかねばと思いました。もう一点、素朴な RQ ですが、「高度化する大学の改革において、より重要な役割を期待される大学職員の報酬は、なぜ高くないのであろうか？」最後に、会の企画と運営、大変お疲れ様でした。

3 まとめ

1 の設問については、「とても満足」「満足」で 87.5%、2 では、「非常にそうだった」「ある程度期待にそっていた」で 87.5%を占めていることから、概ね回答者にとっては、一定の期待に沿ったものであると推察される。

一方、進行や運営については「円滑に進められていた」と回答した割合が 62.5%みられるが、「いくつか課題があった」と回答した者は、37.5%であった。自由記述からもハイブリッドの運用については、工夫や改善が必要だと思われる。今回は、会場施設の関係やメンバーが、カメラを用意することができなかったことをはじめ、自助努力による機器準備の限界がその主因と考えている。今後、機器の整備に関する組織的な支援等について検討

の余地がある。4の「印象に残ったセッション」では、メインとなる話題③を挙げた回答者が75%を占めていることから、参加者の関心は当該トピックに集まったといえる。5の設問では、「とても役に立つ内容があった」「まあまあ役に立つ内容があった」で占められた。上記の結果より、運営上の課題はあるものの、参加した方々においては、一定の満足を得ることができたと言える。

以 上